

# みたけ夢だより

12月号【ホームページ特別版③】

横浜市立みたけ台小学校

横浜市教育情報ネットワーク【Y・YNET】公開サイト <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mitakedai/>

ホームページ特別版(今年ラストの夢だよりは、紙面版はありません)

校長 羽田敏隆

横浜市では、「横浜市いじめ防止基本方針」において、12月を「横浜市いじめ防止啓発月間」としています。右のポスターやのぼりを街の中で見かけた方もいらっしゃるかと思います。

令和2年12月7日(月)に市役所で開催された「いじめ啓発月間スタートイベント」において、「いじめ防止に向けた提言」が発表されました。これは、横浜市いじめ問題対策連絡協議会で、いじめの未然防止に主体的に取り組む子どもたちを、大人がどのように支えていくべきかについて協議を経て策定されたものです(次ページに提言を載せました。お読みください)。



「つながり」は、ともにいじめを乗り越える力になる

～ 子どもにできること 大人にできること みんなにできること ～

「何か素晴らしい取組を始めよう」でなくていいと思います。相手のことを考えた行動・あたたかい声掛け・何気ない一言・笑顔のあいさつ…それが広がっていくと素敵ですよ。

金子みすゞさんの作品『こだまでしょうか』 東日本大震災後にテレビCMで朗読されていました。「やさしく話しかければ、やさしく相手も答えてくれる」と

いうメッセージも流れました。

たった一言で、人は傷つく。

たった一言で、人は微笑む。

「ことばの力」ことばは人から人へ「こだま」していきます。

あたたかいことばを「こだま」させ、優しさの連鎖を広げていく。心掛け

ひとつで大人が、みんながすぐにできる・続けられることではないでしょうか。

「遊ぼう」というと  
「遊ぼう」という。

そして、  
あとでさみしくなって、

「馬鹿」というと  
「馬鹿」という。

「ごめんね」というと  
「ごめんね」という。

「もう遊ばない」というと  
「もう遊ばない」という。

こだまでしょうか、  
いいえ、誰でも。

# いじめ防止に向けた提言

青少年の健全育成のために、子どもに関わる全ての大人に向けて

- 多様なコミュニティを創造し、大人社会の相互信頼を高めることで、子どもに安心できる空間を提供しよう。
- 地域・家庭が一体となって、子どもたちに、幼い頃から多くの「大切な人」との出会いを創ろう。
- 子どもたちが自他の尊さや人とのつながりを実感し、自ら問題を解決していけるたくましい心を育てよう。

## 提言策定の理由と主旨

今年度、新型コロナウイルス感染症拡大予防のために、子どもたちは、「人とのつながり」が分断される状況を余儀なくされた。しかし、本来、人と関わることは、お互いに温かさや安心をもたらすことであり、孤立を防ぐことである。この社会状況を契機として、今、改めて「人とのつながり」の大切さについて考えていく必要がある。

いじめ防止対策推進法には、「いじめについては社会総がかりで取り組むこと」、横浜市いじめ防止基本方針には、「特定の子供や立場の人だけの問題とせず、広く社会全体で真剣に取り組むこと」と示されている。新型コロナウイルス感染症に伴う、偏見や差別の問題の発生、そうした問題に向き合うことを倦厭する社会の雰囲気から脱却し、改めて、大人も子どもも共に「いじめ」について考え、自分事として行動していくことは重要である。コロナ禍と言われる今だからこそ、社会全体で「いじめ」と向き合い、改めて「いじめ」の捉え直しをしていく必要があるのではないだろうか。

子どもに関わる全ての大人が、現実及び仮想も含めた多様なコミュニティを創造し、大人社会の相互信頼を高めることで、子どもに安心できる空間を提供していくこと。さらに、地域・家庭が一体となって、今まで以上に、子どもたちに、幼い頃から多くの「大切な人」との出会いを創っていくこと。そして、子どもたちが自他の尊さや人とのつながりを実感し、自ら問題を解決していけるたくましい心を育てていくこと。子どもに関わる全ての大人が信頼関係を結び、関わり合える社会をつくっていくことは、温かく寛容な風土を醸し、子ども達を柔らかく包むことであり、社会全体で「いじめ」そのものを乗り越えていくことに他ならない。そこで、横浜市いじめ問題対策連絡協議会が、「いじめ防止に向けた提言」を策定・発信することを通して、市民全体が一丸となって、今後一層、取組を深化させていきたいと考える。

## 1年生 日常の風景



国際理解 ババアラ先生の授業



生活科の取組 春にきれいな  
チューリップが咲きますように！



図工 「紙皿ころころ」



## 5年生 「リズムカルに美しく ハードル走」

5年生は、  
体育でハー  
ドル走に取り  
組みました。

友達と競  
走したり、自  
己の記録に  
挑戦したり、



一生懸命取り組む姿が見られました。「抜き足を横から出す」「上体をもう少し傾けられるようにする」など、自分の課題と向き合いながら、何回もチャレンジすることができました。

## 2年生 生活科「あそんで ためして くふうして」

身近な材料を持ち寄って動くおもちゃ作りに取り組みました。机の上に持ってきた材料を広げて組み合わせを試し



てみたり、うまくいかないことを友達に相談したり、できたおもちゃで友達と遊んだり…おもちゃの動きの不思議さを楽しみながら、遊びを創り出すことができました。

## 2年生 国語「お話のさくしゃになろう」

国語では、お話作りに挑戦しました。初め



ての活動にわくわくしながら、集中してお話作りに取り組んでいました。できたお話は互いに読み合い、感想を交換しました。



## 税に関する絵はがきコンクール 表彰

租税教育活動の一環として行われているコンクールで二人の作品が表彰されました。税金が毎



日の生活の中でどのように役立っているのかを小学生に知ってもらい、理解と関心を深めることを目的に実施しているものです。タウンニュースでも紹介しました。学校にポスターも掲示しています。6年生の大村さん・豊田さん、おめでとうございます。

## 6年生 楽しいひととき

12月23日に、クリスマスパーティー(クリパ)を行いました。実行委員中心に計画をたて、夢中になって準備をして、射的やくじ引き、輪投げ、ボウリングなどを楽しみました。



## 6年生 体育 ティーボール



## 個別支援級 「さつまいも テー」

18日(金)に6組の畑で採れたさつまいもを、みたけ台小学校の職員にむけて販売しました。さつまいもは、6月ごろに苗を植え、分担してお世話をし、10月の終わりに収穫したものです。例年に比べてサイズが



大きく、たくさん採れたので、日頃の感謝の気持ち伝えるとともに、職員の皆さんとのコミュニケーションを

とる、ということを目当てに準備を進め、活動しました。たくさんの方にお越しいただき、子どもたちも嬉しそうにしていました。



## 個別支援級 買い物学習

24日(木)に買い物学習の第2弾として、レストランやファストフード店に食事を買に行きました。頼むメニューは自分で決めました。事前に練習をして臨みましたが、実際の店舗での注文はどの児童も緊張したようでした。そのような緊張の中でも、どの



児童もしっかりと注文を伝え、お目当ての品を買うことができました。学校に戻り、食事を行いました。自分で買った食事、とてもおいしく食べられました。

## 個別級 冬らしい素敵な作品

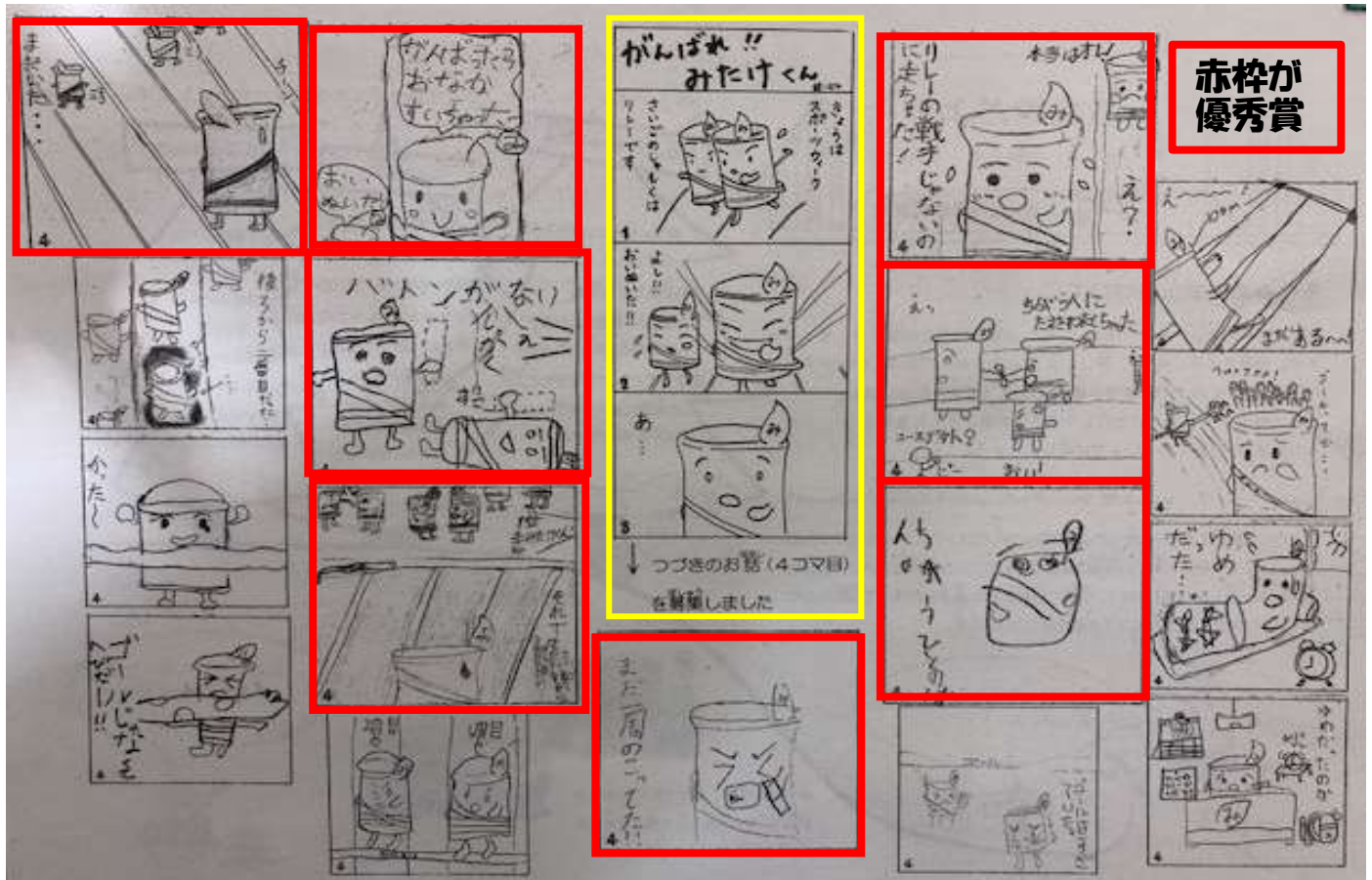


## 学校図書「おはなしづくりコンテスト」

読書月間恒例となった「おはなしづくりコンテスト」(11月の図書館だよりに掲載・募集、4コマまんがの4コマめ(結末)を創作してもらうものです)に今年もたくさんの作品が寄せられました。その中から、特に良かった作品をかいてくれた8人に、校長先生から賞状と作品の入ったオリジナルしおりが手渡されました(12月23日@校長室)。



素敵な作品をありがとう!



赤枠が  
優秀賞

## 来校の際はお使いください

“検温マシーン”を新たに設置しました

正門側の職員玄関と昇降口にあります。検温結果が出ると体温が表示され、横に小さく緑色のライトが点灯します(高いときは赤色のライトが点灯します)。また「Normal temperature / ノーマルテンパラチャ」と英語でしゃべります。音声はかなり大きいので、ビックリするかもしれません。よろしくお願いします



夏までは青々と葉が茂っていたみた小の樹木たちも、すっかり葉を落しました。秋は石塚さん・土屋さんの仕事を増やす、用務員さん泣かせの落葉でした(石塚さん・土屋さん いつもありがとうございます)。

**6年生の有志の男の子たちが、登校してから教室に行くまでの短い時間ではありますが『朝のひと仕事』でほうきやちりとりで落ち葉と一緒に掃除してくれていました。スコップやトンボ(レーキ)を使っているグラウンド整備も。自主的な行動、さすがの6年生です。**



枝の向こうに青空が

サクラも

### 背中伝える上級生としての姿



まだまだ春まで寒い日が続きますが、冬至を過ぎ、これからはだん

だんと日が延びていきますね。木々はすっか

り落葉して、日差しが嬉しいです(夏は木々の木陰が嬉しいです 勝手なものです…)。



カキも



ユリノキも

日差しが嬉しい

25日の今年ラストの朝会では、放送室に「うし君とかえる君」が登場。安全に楽しく、ホッとできる冬休みを過ごすためのメッセージをみんなに送りました(マスクの正しいつけ方は?)。



うし君 鼻もかくそうね

2020年は、“オリンピックイヤーで活気にあふれた日本・世界となり、いろいろな交流が進み、人と人とがつながり、お互いの理解が深まり、心が豊かになり… ”、というようなことを思い描き、期待していたわけですが、それはかなわず、コロナ一色の年になりました。



みたけ君もマスク

**ただその中でも、今までとは違う形・工夫で、みんなで頑張りよう・応援しよう・感謝しよう**と前向きな行動・社会の動きがたくさんありました。みた小の子どもたちも、我慢の部分がありますが、明るく前向きに生活・成長していることをとても嬉しく思います。

今年1年、どうもありがとうございました。2021年が子どもたちにとって、皆様にとって、こころ温まる、豊かな1年になりますように。よいお年をお迎えください。